

会 議 録

会議の名称	第7回白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議
開催日時	平成28年5月17日（火） 18:00～19:30
開催場所	白岡市保健福祉総合センター（はぴすしらおか）会議室6・7
委員長等	委員長 佐々木 操 副委員長 熊坂敏彦
出席者（出席委員）の氏名 ・出席者数	熊坂敏彦、大橋忠夫、中村輝久、五十嵐泰子、柳 和志、佐々木 操、高橋道禎、佐々木祥仁、島村 隆、安藤貴徳、橋本正秀、石塚昭仁、細井宣雄 ※出席者：13名
欠席者（欠席委員）の氏名 ・欠席者数	高橋純悦、小林伸子、岩上陽子 ※欠席者： 3名
説明員の職 ・氏名	企画政策課政策調整担当 課長補佐 大谷昌司、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央、主事 横田将一
事務局職員の職 ・氏名	企画政策課長 篠塚 淳 課長補佐 大谷昌司、主幹 千葉智則、主査 濱田貴央、主事 横田将一
その他会議出席者の職 ・氏名	白岡市 副市長 秋葉清一郎、 総合政策部長 笠原英之
傍聴者数	2人
会議次第	別添のとおり
配布資料	資料1 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～ 平成28年度実施計画 ～ （案） 資料2 国の地方創生に関する交付金について 資料3 白岡市まち・ひと・しごと創生有識者会議予定（平成28年度）

(会議の経過)

発 言 者	発言内容・決定事項等
委員長 副市長	1 開会 2 あいさつ ～ 佐々木委員長より挨拶 ～ ～ 秋葉副市長より挨拶 ～
事務局	(会議の公開について説明)
委員長	議題(1)の「白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられた事業の実施計画」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	3 議題 (1) 白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけられた事業の実施計画について (資料1、別紙1について説明)
委員長	ただ今の説明について、ご意見がありましたらお願いします。
P委員	まず、白岡中学校の周辺地域について、半径2km以内に建築物等を制限する方針を作ることはできないでしょうか。実際に中学校の周辺では中学生が校外でマラソンなどを行っています。そのため、周辺を開発すると交通量が多くなり、学習環境が悪化する恐れがあります。児童や生徒の安全を守るためにも、先に述べたような方針を作れないかお伺いします。 二点目に、初期救急医療体制の充実についてお伺いします。数年前に救急車の受け入れに関する問題がありました。この後、救急隊でもタブレットを使用するなど改善の動きがありました。そのような中、久喜・白岡休日夜間急患診療所からの脱退を協議すると記載されていますが、どういう意味なのかお伺いします。 三点目に、地域包括ケアシステムについて、国の意向に沿って行う従来通りの形ではなく、総合事業について一定の幅を持った形での運営ができないかお伺いします。 四点目に、新生児誕生に係る記念品の贈呈についても、子育て支援包括センターの事業範囲ではないかと思われますので、子育て支援課が担当するのが正しいのではないのでしょうか。また、特産品についても、米だけでなく、さらに子育て世代に対する生活支援や、情報提供を行うなど、白岡市で子供を増やせるような支援事業を行うのが良いのではないのでしょうか。
事務局	まず、一点目の白岡中学校周辺区域の土地利用については、現在、白岡中学校

(会議の経過)

	<p>周辺の土地利用を考える会が立ち上がり、地権者を交えて土地利用の検討を行っているところです。学校周辺2km以内に何も作らない(制限する)ということは難しいところですが、児童、生徒の通学路として利用がされていることから、教育環境は保全する形で検討してまいりたいと思います。</p> <p>二点目の初期救急体制については、現在当市が加入している久喜・白岡休日夜間急患診療所が築30年を超えたことで施設の老朽化が進んでいます。また、医療機器が不十分であるため簡易な検査しかできない、診察を担当する医師も高齢化が進んでおり、医師不足が発生しているなどの問題があります。このような状況のため、白岡中央総合病院に委託することで、救急搬送等の受け入れを可能としたものです。それに伴いまして、久喜・白岡休日夜間急患診療所からの脱退を協議するというものです。</p> <p>三点目の地域包括ケアシステムについては、事務局として資料が不足しており、高齢介護課に確認して次回の会議で報告させていただきます。</p> <p>四点目の新生児誕生の記念品については、お米を配るということは、新生児の誕生に関するお祝いと市内の農業振興を目的として実施しています。</p> <p>P委員の御指摘のとおり、お米の配布だけでなく、当市で子供を育てたいと市民が思えるような取り組みを今後も実施していく予定です。現在は予算の関係でお米だけとなっていますが、今後は、新たな取り組みを検討してまいりたいと考えております。</p>
委員長	他にございますか。
P委員	<p>初期救急医療体制の問題について、施設の設備や医師不足が問題であるならば、補助金をもっと増やすことができないかと思いますが、医師不足という点を考えると白岡中央総合病院で対応することは可能でしょうか。今でも救急指定の病院ではありますが、どのくらいの負担がかかるのでしょうか。市としての補助や人員の配置をしっかりと考えるべきであると考えます。</p> <p>ただ白岡中央総合病院に委託するだけでなく、病院で働く人や施設に対する補助金などを作るべきではないでしょうか。3年前の救急車の受け入れに関する問題を繰り返さないためにも、ぜひ検討をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>初期救急医療体制の問題は、平成25年に実施した9都県市の合同防災訓練の反省会において、医師会から、久喜・白岡休日夜間急患診療所の問題点について指摘されたものです。その解決策としまして、当市内で初期救急医療体制を確立するために進めたものです。業務委託している以上、市からはそれ相応の費用を負担します。現在では、久喜・白岡休日夜間急患診療所にも負担金を支払っているため、新たに実施すると二重負担になるので、当然ながら、費用負担はするものという認識で白岡中央総合病院に絞るものです。</p>
委員長	新任の委員さんの意見も伺いたしたいと思います。B委員さんいかがでしょうか。

(会議の経過)

B委員	特に意見はありませんが、初期救急医療体制の問題については、白岡中央総合病院にお願いする形になりますが、当院に行きにくいという方はどうするのか気になります。また久喜・白岡休日夜間急患診療所がなくなる場合、久喜市はどこかの病院に委託するのか気になっています。
委員長	他にあればお伺いします。 意見がないようですので、次に進みます。議題(2)の「地方創生に関する国の交付金事業」について、事務局より説明をお願いします。
事務局	議題(2)「地方創生に関する国の交付金事業」 (資料2、別紙2について説明)
P委員	地方創生の交付金についてお伺いします。この補助金の利用について、宮代町が6次産業の関係で道の駅に利用したと聞いているが、どのようにして受けているのですか。二点目として、シラオカ麺について、この材料は小麦粉なのでしょうか。米粉を使うことは考えられないのでしょうか。小麦粉やうどん粉とは違い、地元産の米粉を使用すれば、地元にお金が落ちると思います。
事務局	宮代町は、当市と同様に国に申請して地方創生先行型交付金と上乘せ交付金を受けているようです。上乘せ交付金については、当市に具体的な資料はありませんが、聞いた話では、定住促進を目的として東武スカイツリーラインの車内に広告を出し、ラッピング車両としてPRしたようです。
P委員	宮代町の道の駅についてはどうですか。
事務局	この補助金は、ハード事業は採択されないため、道の駅は作っていないと思います。加速化交付金の1次募集で採択されたものは、「新しい村」の整備や、イベントの開催施設の整備に活用するという事で採択されたようです。 また、シラオカ麺については麺類であれば何でもよいと考えています。飲食店の方針によって変わることはありますが、現在のところはそう考えています。また、米粉を使った麺の活用については、実用化されれば市内の農家も活用の幅が広がると思いますので、よいアイデアであると思います。
委員長	ほかに意見はございますか。
N委員	シラオカ麺のシティプロモーションを大々的にやるということについてお伺いします。シラオ仮面のプロフは、どのような位置づけにあるのか教えてください。また、内容は白バルのようなものと考えてよいのでしょうか。 女子栄養大学とコラボレーションして特産品をつくるようだが、シラオカ麺も、

	<p>例えば市内店舗の和樂さんが実施している「トマルーめん」のように、商工会やお店側におまかせしているように感じます。もう少し骨組みがあれば肉付けをしたほうが良いと思います。シラオ仮面を知ってもらうのも大切です。シラオ仮面になぞらえてプロモーションするのであれば、もっともっと考え方はあると思います。</p> <p>北海道に似たようなキャラクターで、札幌市の白石区だけを守るキャラクターがいます。シラオ仮面が白岡市を守るという意味でもこのキャラクターにぴったりだと思います。北海道にもその地域だけのために良いことをするキャラクターがいるということです。</p> <p>当市においても、シラオ仮面を作ったからプロモーションをしようということではなく、全体を見て有効に活用できるプロフを作ってもらいたいと思います。</p> <p>また、この事業は企画政策課が主導権を握って、商工会や観光協会が実施するという形なのでしょうか。</p>
事務局	プロフとはどのようなものですか。
N委員	キャラクターを作るにあたり、人間に人生があるように、なぜシラオ仮面は生まれたのかなど、何を目的してシラオ仮面が存在しているのかといった背景が必要です。提示されている資料では、そのあたりがうまく表現できていないように感じます。また、消費者にとってもシラオ仮面がどのようなものか疑問に感じると思います。シラオ仮面をプロモーションするにあたり、さらに背景や内容がないとキャラクターとして愛されないのではないのでしょうか。
事務局	<p>ご指摘のとおりでございます。シラオ仮面の背景やキャラ設定については、埼玉県、特に利根地域振興センターのL委員からもご尽力いただきまして、ふるさと創造資金を活用しておりまして、かつ大学や企業等と連携しながら、さまざまな御意見をいただき育てていく予定です。</p> <p>また、市職員の中からも、「Team シラオ仮面」として職員が設定をつくる体制を整えています。基本的にシラオ仮面は、なしりんとなしべえを助けるという設定であり、また、様々な人を応援するというキャラクター設定もあります。このようなキャラクター設定を大事にしながら、今後、どのような活動をしていくかについて検討してまいります。</p> <p>シラオカ麺については、職員が料理するわけではありませんので、実際には飲食店に作っていただくこととなります。プロの方にとっても人の目を引く商品を作ることや、新たな商品開発をすることは大変なことだと思います。先ほど名前が出てきましたが、市では女子栄養大学と連携協定を結んでいるため、飲食店にアドバイスをもらえる体制づくりを整えていきたいと考えています。市としましてもプロモーションを行う検討をしていきますので、御意見がありましたら、お声かけいただきたいと思います。</p>

(会議の経過)

N委員	<p>シラオ仮面について1点お聞きします。</p> <p>特許はすで取得されているのでしょうか。また、シラオ仮面の顔の「岡」の表記について、マイクロソフト社のコリントを使用されていると思いますが、マイクロソフト社の許諾は得ていますか。</p> <p>マイクロソフトコリントは許諾をとらないと莫大な違約金を取られることがあるようなので、その点はどうでしょうか。デザインをされた方ならわかっていると思いますが、顔の字幕についても事前許諾が必要なもので、まだ広まっていないうちに詳しい方に相談したほうが良いと思います。</p>
事務局	<p>シラオ仮面の商標登録については、現在申請中です。マイクロソフトの件については、キャラクターデザインと同様に詳しい方に頼んでいるので大丈夫だとは思いますが、改めて再確認をしたいと思います。</p>
委員長	<p>他にございますか。</p> <p>それでは、副委員長からまとめをお願いします。</p>
副委員長	<p>昨年度から皆さんと議論してきた創生総合戦略が、具体的に今年度の事業に記載されており、たいへん良いことであると思います。私の専門は産業の分野ですので、それに関して確認と意見を申し上げたいと思います。</p> <p>1点目は、特産品の開発や6次産業化、シラオ仮面のプロモーションなど、展開として面白いと思いますが、ひとつ確認したいのは、シラオカ麺について、人気投票を実施してグランプリを受賞した飲食店が作るという手法が、町おこしのやりかたとして正しいのかどうかについてです。市内の飲食店をあげて一丸となって盛り上がるというのが良いと思います。</p> <p>例えば、茨城県の笠間市では「笠間いなり」が有名ですが、様々な飲食店がいなり寿司を作っておりまして、町を挙げてB級グルメグランプリに参加しています。今回の白岡市のやり方に関しては、他と比べて元気がなくなったり、市内の飲食店の間のまとまりを欠くようなことにならないか不安に感じます。</p> <p>また、農業振興やシラオカ麺、米粉を使用するのも面白いですが、6次産業化については、農水省のプロジェクトであり、農業が主体とならなければいけないものです。地域おこしの場合は、商業、工業、観光とサービスが一体となるような連携の場を市が中心となって設定したり、新商品開発のための会議を設置したりするのが良いと思います。大学関係者や専門家等と呼ぶことも大事ですが、少し農業が前面に出すぎているのではないかと感じます。町工場の従業員や観光サービス業に従事する人なども巻き込んで意見交換会を開くなどすると良いです。</p> <p>地域ブランドについても、推進体制を整理して、白岡らしいものを作るのが望ましいと思います。担当部署が重複してしまっていますが、農政課だけに6次産業を任せることがないように、複数の課で連携してやるべきだと感じます。</p> <p>2点目に、白岡市で事業を新規に立ち上げてくれるような若い事業家を支援するような補助金や、情報提供などの支援の仕方があります。産業については以上</p>

(会議の経過)

事務局	<p>のような意見を申し上げます。</p> <p>こちらの実施基本計画は、昨年の方版総合戦略をもとに作成しています。市も企業支援をこれまでやってきたことがありませんが、埼玉りそな銀行さんなどと協力して、知恵をお持ちの企業や大学等と連携して進めていきたいと思ひます。また、市の体制についても同じことが言えますので、関係課で連携して進めていきたいと思ひます。今までの意見を受け止めまして、更なる地方創生の実現に向け推進してきたいと思ひます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。他にございますか。</p>
K委員	<p>シラオカ麵の事業は、面白い事業だと思ひますが、2点ほど意見があります。</p> <p>まず1点目に、シラオカ麵を提供する店が20店舗あり、コンビニでチケットを購入して、通常より安価で食べられるということは、チケットの販売価格は1万円になるのではないのでしょうか。すべての店舗を回るのは難しいので、行くのかどうかは自由ですが、20店舗を平等に扱うにはそのようなやり方になるのではないかと思ひます。</p> <p>2点目は、観光スポットが近くにないところは、レンタサイクルを実施してもそこに行かないのではないのでしょうか。</p>
D委員	<p>ただいまのご意見を伺いまして、その通りだと感じました。例えば、ワンコインでなくてもいいので、市内を回らずに1カ所の会場で全種類を食べられるといいのではないのでしょうか。</p>
K委員	<p>チケット1枚が100円ならば、20店舗では2,000円となりますので、それならば買おうと思ひます。更に、3週間開催しなくても、1カ所のイベント会場で開催すれば経費の節減になると思ひます。</p>
事務局	<p>シラオカ麵のイベント自体は、まだ検討中のため、ただいまの意見を参考にし、事業の練り直しをしたいと思ひます。</p> <p>様々なご意見をいただき、ありがとうございました。</p>
委員長	<p>他に意見はありますか。</p>
委員長	<p>3) その他</p> <p>ないようですので、(3)「その他」について、事務局から何かございますか。</p> <p>事務局から説明</p>

(会議の経過)

	<p>4 閉会</p> <p>～熊坂副委員長より挨拶～</p>
--	---------------------------------